

展示場リニューアルのお知らせ

3月19日(木)から南アジア展示・東南アジア展示があたりしくなりました!!
みんなくでは、すべての展示場を順次、刷新していく計画を進めています。

南アジア展示

南アジアは、豊かな自然環境のもと、さまざまな宗教や文化、社会集団が共存しあう知恵を育んできました。信仰やくらしの技の多様性、独特の発展を見せる大衆文化や染織文化の展示をおして、躍動する南アジアの姿を紹介します。



右からジャガンナート神、スバドラー神、バララマ神/インド

東南アジア展示

起源を異にする民族がさまざまな生活スタイルでくらす東南アジアでは、民族や文化が入り組み、異種混種の世界が広がっています。「東南アジアの1日」をコンセプトに、その多彩な文化を紹介します。



水上人形(漁師の夫婦)/ベトナム

躍動する南アジア——春から秋のみんなくフォーラム2015
新しくなった展示にあわせて、南アジアの躍動感あふれる姿を、さまざまな関連イベントを通じて紹介します。

■関連イベント

◆ワークショップ

「忠実再現! インド西部の刺繍布——展示資料の模写に挑戦」

日時 5月24日(日)、6月7日(日)、28日(日)

3回連続講座
10時30分~16時

会場 本館ナビひろばなど(定員12名)

講師 上羽陽子(本館准教授)

三尾稔(本館准教授) 6月28日のみ

応募締切 5月10日(日)必着

※参加費各回500円(別途要展示観覧券)、事前申込、中学生以上の刺繍経験者で全3回ご参加いただける方対象

企画展

「岩に刻まれた古代美術——アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」



雪の中から浮かび上がるヘラジカ

会期 5月21日(木)~7月21日(火)

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」

目で読む文字から手で読む文字へ。点字で異文化コミュニケーションを体験してみませんか。

日時 5月9日(土)12時~15時30分
会場 本館エントランスホール
※参加無料、申込不要

「地球探究紀行」

みんなくの研究者が驚きと感動をお届けします。世界の文化の奥深くへ一緒にどうぞ。

時間 13時~14時30分

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」

※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回10000円

主催 産経新聞社

特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

5月13日(水)

星と風と波——オセアニアの偉大な航海者

講師 須藤健一(本館館長)

5月27日(水)

アムール河の古代岩画と神話——少数民族の聖地シカチ・アリヤン

講師 佐々木史郎(本館教授)

お申込み・お問い合わせ

ウエブ産経レジャシアター係

06-6633-9087

研究部新メンバーのご紹介(4月1日付)

寺村裕史(文化資源研究センター助教)

国際日本文化研究センター・文化資料研究企画室特任准教授を経て現職。専門は文化情報学/情報考古学。日本(主に古墳時代)・ウズベキスタンやインドなどをフィールドに、文化資源のデジタル化・

情報化に関する研究や、GIS(地理情報システム)を援用した歴史文化研究に従事。著書に「景観考古学の方法と実践」(同成社、2014年)などがある。



巡回展「イメージのカ」——国立民族学博物館コレクションにさぐる
会期 6月27日(土)~8月23日(日)
休館日 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日)
会場 郡山市立美術館(福島県)
主催 郡山市立美術館
国立民族学博物館
千里文化財団

●無料観覧日のお知らせ
5月5日(火)祝のこどもの日は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合は、入園料が必要です。

●みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)新規メンバー募集

みんなくミュージアムパートナーズは、みんなくの博物館活動をサポートするため自主的な企画を運営する市民パートナーです。この度9月から活動する新しい仲間を募集します。定員に達し次第、受付終了です。
応募期間 4月25日(土)~5月10日(日)
お問い合わせ先
みんなくミュージアムパートナーズ事務局 平成27年度新規募集係
Email: minpakukyo@ac.minpaku.ac.jp
※みんなくホームページで詳細を確認の上、ご応募ください。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時~17時(土日祝を除く)です。

みんなくセミナー

時間 13時30分~15時(13時開場)

会場 本館講堂

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

第444回 5月16日(土)

先住民が守る古代遺跡

アムール河流域シカチ・アリヤン村の岩面画
講師 佐々木史郎(本館教授)

極東ロシアのシカチ・アリヤン村の岩面画は、ロシア考古学の父と称されるA.P.オクラトニコフが調査したことで有名になりました。そこに描かれた板面画や動物は、地元の先住民ナナイの人びとにとっても神話の世界を物語る聖なるものとされてきました。今は観光資源としての活用が期待されています。古代遺跡、信仰対象、そして観光資源と3つの性格を持つこの岩面画の将来を考えます。

みんなくワークショップ「サロン研究者」話です。

時間 14時30分~15時30分

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

本館の研究者が来館された皆様の前に登場します!

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

5月3日(日) 本館南アジア展示場

くらしに息づく豊かな宗教伝統——南アジアの新展示から

話者 三尾稔(本館准教授)

5月10日(日) 本館ナビひろば↓南アジア展示場

染織の伝統と現代——新しくなった南アジア展示場

話者 上羽陽子(本館准教授)

5月17日(日) 本館ナビひろば

南アジアの結婚式と音楽

話者 寺田吉孝(本館教授)

5月24日(日) 本館企画展示場

シカチ・アリヤンの岩面画とナナイの神話

話者 佐々木史郎(本館教授)

5月31日(日) 本館ナビひろば↓西アジア展示場

なぜ「イスラムの語源は平和」という誤解が流布するのか?——マスコミと御用学者の功罪

話者 西尾哲夫(本館教授)

刊行物紹介

■信田敏宏 著

『「ホーホー」の詩ができるまで——ダウン症児、こころ育ての10年』

出窓社 1,300円(税抜)



ダウン症に生まれた娘の初めて書いた詩「ホーホー」が、第19回NHKハート展に入選するまでの確かな成長を綴った勇気と希望のあふれる「こころ育て」の書。出生時の心境から療育の様子、言葉と心を育てる取り組み、障害に対する考え方、娘の成長と親としての気持ちなどを、写真を交えながら紹介する。

■鈴木裕之・川瀬慈 編著

『アフリカン・ポップス!——文化人類学からみる魅惑の音楽世界』

明石書店 2,500円(税抜)

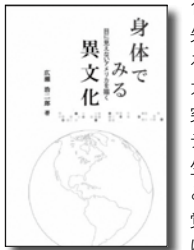


本書は人類学者によるアフリカのポピュラー音楽研究の成果を一般の読者にわかりやすいかたちでまとめた。執筆者それぞれが、アフリカのポピュラー音楽といかに出会い、現地においてその担い手たちとどのような交流、を行ってきたのかを紹介し、各音楽を生み出した現地の文化・社会背景についての考察する。

■広瀬浩二郎 著

『身体でみる異文化——目に見えないアメリカを描く』

臨川書店 1,850円(税抜)



13歳で視力を失った著者による、アメリカ・シカゴでの在外研究記。マイノリティとしての実生活をいきいきと描きながら、聴覚や触覚、さらには皮膚感覚を駆使してとらえたアメリカでの思索の日々を綴る。

友の会

友の会講演会(大阪)

時間 14時~16時(講義と併せ、懇談会もしくは展示見学会を開催します)

会場 本館第5セミナー室 ※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円

第443回 6月6日(土)

聖なる遺跡は物語る——アムール河の少数民族ナナイの神話をさぐる

講師 佐々木史郎(本館教授)

アムール河流域の諸民族は、多様な口承文芸をもっています。シベリア諸民族と共通するものもあれば、射日神話や兄妹始祖神話のように日本や中国など東アジアと共通するものもあります。神話の世界を探ると、精神文化や宗教のみならず、近隣諸民族との交流や自然現象との結びつきなどが見えてきます。聖なる遺跡シカチ・アリヤンの岩面画をたよりに、アムール河流域に伝わる神話の世界をさぐります。

●講義と併せ、企画展「岩に刻まれた古代美術」を見学します。

第444回 7月4日(土)

ヨーガの隆盛をさぐる——現代インドにおける「伝統」の再評価

講師 竹村嘉晃(現代インド地域研究国立民族学博物館拠点拠点研究員)

インドを発祥とするヨーガは、近年、新たなエクセサイズとして世界中で人気を集めています。その波はグローバル化が進むインド社会にも環流し、美容や健康はもとより、宗教や政治、産業やスポーツといった多面的な文脈において展開しています。本講演会では、近代ヨーガが構築された近現代史を紐解きながら、経済発展の影響による社会変化が著しい現代インドにおいて、ヨーガが隆盛している文化・社会的な動態について考えます。

●講義と併せ懇談会を開催します。

体験セミナー

第70回 6月25日(木)

日本の食文化——昆布に親しむ

※表紙ワラの案内をご覧ください。